

白幡森周辺エリア基本構想策定業務公募型プロポーザル評価基準

1. 目的

白幡森周辺エリア基本構想策定業務公募型プロポーザル実施要領（以下「要領」という。）における採点方法及び基準について定める。

2. 資格審査

- （１）採点は、別表「配点表【技術資料】」に基づき審査し、得点は「１１０点」を満点とする。
- （２）評価は、参加表明書と併せて提出する様式２～様式５－３に基づき評価を行う。
- （３）実施要領の「３．参加資格」を満たさない者は失格とし、書面によりその旨を通知する。
- （４）失格とならない参加表明者が３者以下である場合は参加表明者の全てを、また、失格とならない参加表明者が４者以上の場合は得点の上位３者をヒアリングの対象に加える。

3. ヒアリング

- （１）採点は「白幡森周辺エリア基本構想策定業務プロポーザル審査委員会」（以下「委員会」という。）が実施し、得点は「１３０点」を満点とする。
- （２）委員会は、提出された提案書及びプレゼンテーションの内容について、別表「配点表【企画提案】」に基づき評価を行う。
- （３）ヒアリング当日において、提案書に記載された内容以外の提案があった場合、これを評価しない。

4. 契約予定者の特定

- （１）総合点数は「２４０点」を満点とし、別表「配点表【技術資料】及び【企画提案】」に基づき採点された点数の合計とする。
- （２）有効な提案書を提出した参加表明者であって、総合点数の高い者から順に契約予定者とする。
- （３）委託候補者の選定にあたり、総合点数が同点の者が２以上あるときは、委員会の合議により決定する。

別表：配点表【技術資料】

評価項目		評価基準	配点	
企業の業務実績	業務実績	同種・類似業務の実績について、以下のいずれかで評価する。		
		A：実績が10例以上ある	15	
		B：実績が5～9例ある	10	
		C：実績が3～4例ある	5	
		D：実績が1～2例ある	0	
配置予定技術者の技術力と実施体制	管理技術者	従事期間	業務（都市計画及び地方計画）に従事した期間について、以下のいずれかで評価する。	
			A：従事期間が15年以上	15
			B：従事期間が10年以上15年未満	10
			C：従事期間が5年以上10年未満	5
			D：従事期間が1年以上5年未満	0
		業務実績	同種・類似業務の実績について、以下のいずれかで評価する。	
			A：実績が10例以上ある	15
			B：実績が5～9例ある	10
			C：実績が3～4例ある	5
			D：実績が1～2例ある	0
	調査技術者	従事期間	業務（都市計画及び地方計画）に従事した期間について、以下のいずれかで評価する。	
			A：従事期間が15年以上	15
			B：従事期間が10年以上15年未満	10
			C：従事期間が5年以上10年未満	5
			D：従事期間が1年以上5年未満	0
		業務実績	同種・類似業務の実績について、以下のいずれかで評価する。	
			A：実績が10例以上ある	15
			B：実績が5～9例ある	10
			C：実績が3～4例ある	5
			D：実績が1～2例ある	0

別表：配点表【技術資料】

配置予定技術者の技術力と実施体制	主たる担当技術者	資格	取得資格について、以下のいずれかで評価する。	
			A：技術士（都市計画及び地方計画）を有する。	10
			B：技術士（都市計画及び地方計画）を有せず、RCCM（都市計画及び地方計画）を有する。	5
			C：上記資格を有しない。	0
		従事期間	業務（都市計画及び地方計画）に従事した期間について、以下のいずれかで評価する。	
			A：従事期間が10年以上	10
			B：従事期間が5年以上10年未満	5
			C：従事期間が1年以上5年未満	2
		業務実績	業務（都市計画及び地方計画）の実績について、以下のいずれかで評価する。	
			A：実績が10例以上ある	10
			B：実績が5～9例ある	7
			C：実績が3～4例ある	5
			D：実績が1～2例ある	2
		専任性	手持ち業務と当該業務の重なり程度を、契約金額500万円以上の手持ち業務件数で以下のいずれかで評価する。	
			A：1件以下	5
			B：2～3件	3
			C：3件を超える	0

技術資料：満点＝110点

別表：配点表【企画提案】

評価項目		評価基準	配点
実施方針	業務に対する理解度	現状確認が適切であり、当該業務の目的、条件、内容の理解度が高いか。	10
	実施方針の的確性	課題認識が適切であり、実施方針の妥当性があるか。	10
	実施フロー、工程計画の的確性	作業スケジュールや策定プロセスなどの工程計画が妥当であるか。	10
企画提案	的確性	にかほ市の地域特性を踏まえ、課題の評価分析方法が優れた提案となっているか。	15
	独創性	専門的見地に基づく独創性の高い提案があるか。	15
	実現性	提案内容に説得力があり、また、実現性の観点からその内容が適切であるかどうか。	15
ヒアリング	資料作成能力	的確な文章表現、作図等の創意工夫、重要箇所の整理方法などが分かりやすく説得力があるか。	15
	コミュニケーション	プレゼンテーションがわかりやすく説得力があるかどうか。また、質疑に対する的確な応答であるか。	15
	提案意欲	業務に対する取組意欲や熱意が感じられるか。	15
価格点	参考見積額の低い順に、1位＝10点、2位＝7点、3位＝5点とし、4位以下は見積額の差を問わず0点とする。 ※同一価格は同一順位とし、その次点の者の順位は、そのものより上位にある者の数により順位を決定する。（例：1位が2者の場合、次点は3位）		10

満点＝130点

※価格点を除く各項目の評価は以下の5段階で評価する。

評価	優れている	良い	普通	やや劣る	劣る
配点：15点	15	11	7	3	0
配点：10点	10	7	5	2	0

※各審査委員の採点の平均値を得点とする。